

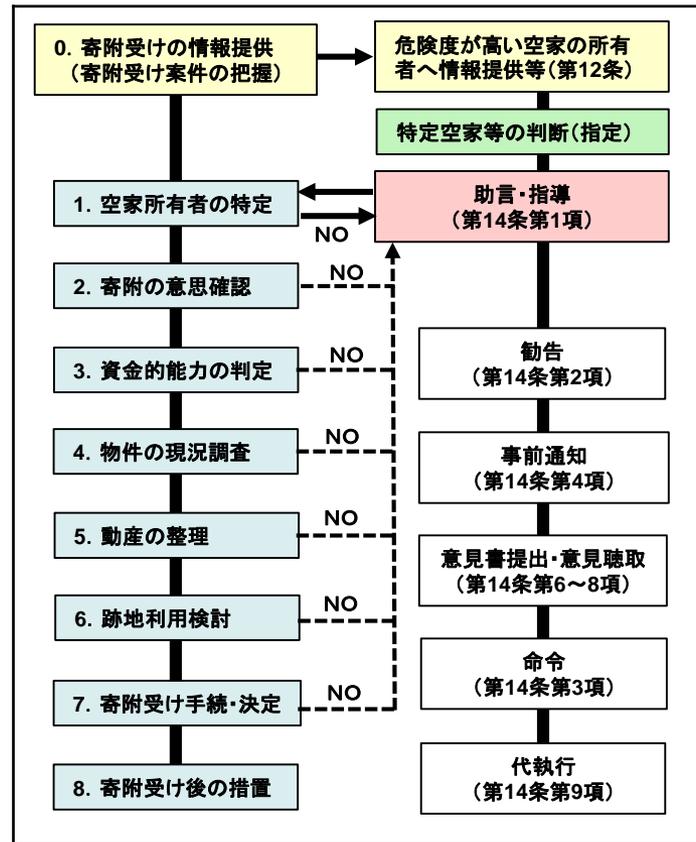
泉佐野市特定空家等対策事業（公益社団法人大阪府建築士会）

課題と目的	・平成30年度から泉佐野市が実施している「特定空家等の寄附受け事業」のマニュアルを作成し、事業の円滑な運営を図る。
取組内容	・寄附受けを予定している空家をモデルにケーススタディを行い、成果をマニュアルに反映する。 ・建築士、弁護士、司法書士、土地家屋調査士の各専門分野のノウハウをマニュアルに反映する。
成果	・特定空家等の寄附受けを通じて、その手続きの過程の検証を行い、寄附受けに係る、調査や判定の方法、手順等をまとめたマニュアルを作成した。

■市の寄附受けリスクとその考え方

- 寄附受けリスク**
- ① 土地、建物の固定資産税の減収
 - ② 建物撤去費の負担
 - ③ 跡地売却又は利用
- ↓
- リスクに対する考え方**
- ① 特定空家等は築年数が経過し、固定資産税額が小額又は免税点未満の場合が多い。
 - ② 所有者に資金的な能力等がない場合は、放置される可能性が高い。
 - ③ 市が一定の要件を満たす特定空家等の寄附受けを行い跡地活用を行うことで、地域の安心安全を守り、住みやすいまちづくりに資する。
 - ④ 建物撤去費や跡地利用コストの負担は、市域のイメージアップを図る必要コストである。

■事業のフローチャート



■跡地利用検討フローチャート

